

CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 15 No.16 2013年8月31日号

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2013 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

■松田通商、ClearOne 社のフル HD 対応テレビ会議システム国内販売を展開

松田通商株式会社(東京都港区)は、米 ClearOne (クリアワン)社フルHD対応テレビ会議システムの国内販売を展開している。(取材:8月19日)



COLLABORATE Room(松田通商 資料)



COLLABORATE Desktop(松田通商 資料)

ClearOne 社は、エコーキャンセラーなど会議用デジタル音声システムで 20 年近く業界をリードしてきた米国企業。会議音声システムでは世界で 50%近いシェアを誇る。代表的な製品としては、スピーカマイク「CHAT シリーズ」やオーディオミキサー「ConvergePro シリーズ」などがある。

松田通商は 2001 年以来、日本での ClearOne 社の製品取扱を行っており、会議室や講堂など高品質な音響環境構築において導入実績は多い。また、遠隔会議システムと組み合わせての導入ケースもあり、多くの関連メーカーから推奨品として指定されている。

また 2012 年に入り、ClearOne 社はイスラエルのテレビ会議メーカー VCON(ブイコン)社を買収し、VCON の製品や技術をベースにテレビ会議システムラインナップを同社の新たな事業として加えた。現在、「COLLABORATE(コラボレート)シリーズ」として世界各国の ClearOne 社の販売代理店を通して販売している。

この定期レポートの読者の中では VCON を知っている方は多いのではないかと思うが、実は、VCON 製品は日本において 1995 年から販売されており、これまでに全国の自治体および学校等公共機関、民間企業に 10,000 セットの導入実績がある。

一方、これを受けて松田通商は、5 月に東京ビックサイトで開催された「オフィスサービス展 2013」(主催:リード エグジビション ジャパン株式会社)での展示など日本における国内販売を展開しており、すでに採用案件も出てきているという。

COLLABORATE シリーズは、H.323/SIP 通信に対応しており、PC デスクトップソフトウェア「COLLABORATE Desktop」、専用端末「COLLABORATE Room」、MCU やストリーミング・管理システムなどの機能をもったサーバ「COLLABORATE VCB」、NAT 越え機能を提供する「COLLABORATE

NetPoint」から構成されている。

その中でまず、COLLABORATE Desktop は、720p(送信)/1080p(受信)に対応したテレビ会議システムソフトウェアである。テレビ通話だけでなく、データ共有、レコーディング、ストリーミングなどの機能もある。2 拠点間ではサーバレスで構成が可能となっている。

「価格は 1 ライセンス数万円程度だが、この価格で H.323 とのテレビ通話やデータ共有ができ、しかも、レコーディングやストリーミングも可能なソフトウェアは他社にはないのではないか。ちなみに、専用端末の Room はこの Desktop ソフトウェアをベースに開発されている。」(松田通商)

COLLABORATE Room は、用途に応じて 4 機種の SD からフル HD 対応モデルが提供されている。

また、それぞれのモデルの中で、ポイント to ポイント機や CHAT 同梱機、MCU 内蔵機などバリエーションも用意されている。さらに、レコーディングやストリーミング機能のほか、フル HD(1080p)対応機では最近テレビ会議システムで標準となりつつある 60 フレーム秒まで可能だ。接続インターフェイスについては、HD-SDI や HDMI 端子を持っている。

COLLABORATE Room は、テレビ会議を行っている最中に、内蔵しているレコーディング・ストリーミング機能を使って、イントラネット/インターネット上の PC 端末へもマルチキャスト(Windows Player で再生)が行える。もちろん、録画後はオンデマンドで視聴することもできる。

ただし、多地点テレビ会議環境では、COLLABORATE VCB に内蔵するレコーディング・ストリーミング機能を使う。また、録画されたデータは VCB に内蔵のハードディスクに保存される。

COLLABORATE VCB は、フル HD(1080p/60 フレーム秒)に対応した、最大 36 地点の多地点接続、同一画面に最大 25 人までの連続表示が可能となっている多地点接続サーバ。H.239 データ共有や、レコーディング・ストリーミング(録画・配信方法は先述の通り)、管理システム機能も搭載している。

管理システム機能においては端末管理、スケジューラー、

MS Outlook との連携、管理レポートなど各種機能が揃っている。その他、システム構成の面では、カスケードやサーバの二重化にも対応しており、ファイアーウォール/NAT 超えにおいては、COLLABORATE NetPoint を組み合わせる。

なお、COLLABORATE VCB はハードウェアアプライアンス製品としての提供に加え、仮想化環境への設置についてはソフトウェアバージョンも提供を予定しているという。

「ClearOne 社のテレビ会議ラインナップは、Desktop 端末からサーバまで包含したフレキシブルなソリューションである。多様なユーザーズに対応できる。スピーカマイクやオーディオミキサーと組み合わせたソリューションも提供している。」(松田通商)



COLLABORATE 利用イメージ(松田通商 資料)

テレビ会議システムは、マイクやスピーカを使うため、マイクやスピーカの位置や数、出力/入力レベルなど設置する会議室や室内環境に大きく影響される面がある。たとえばハウリングなどの問題は典型的なケースのひとつ。快適な音響環境には、テレビ会議設置と一緒に適切な音響環境をユーザー毎に構築することも大事だ。こういった点で要になるオーディオミキサーを提供する ClearOne 社は市場で強いという。

松田通商は 1979 年設立。放送通信システム、映像システム、音響システム、会議システムの 4 つの事業を柱に事業を展開している。テレビ・ラジオ放送局からコンサートホールやアリーナ、国際会議場、プレゼンルーム、企業会議室まで対応した幅広いソリューションを提供している。国内外の関連の製品を数多く取り扱っており、提案から設計、システム制作、設置工事、検査・調整・引き渡し、保守・メンテナンスまで一貫して請け負う。さらに自社開発製品もある。本社は南青山、大阪に営業所がある。

■エスディーピーシー映像システム社、Web 会議・Web 回診に特化した映像機器を発売

業務用機器の開発を行うエスディーピーシー映像システム社(川崎市川崎区)は、Web 会議・Web 映像配信に特化したビデオスイッチャーと専用カメラ(マルチカメラシステム)を発表した。発売は 9 月中旬を予定。(8 月 8 日,ValuePress!)

従来の Web 会議・Web 配信では、基本的に 1 台の web カメラ(USB カメラ)で撮影を行うが、広角撮影やズーム撮影ができない。そこで、同社では、5 入力可能なビデオスイッチャー、専用 CCD カメラ、スコープカメラを開発。シーンに合わせた映像を切り替えながら Web 会議・Web 配信を行えるマルチカメラシステムとして販売する。

製品として提供するものは以下の通り。



IM500 マルチスイッチャー

IM510 CCD カメラ

IM520 スコープカメラ

マルチカメラシステム(エスディーピーシー映像システム社 資料)

(1)「スイッチャーユニット(IM500)」:最大 5 台(5ch)のカメラ入力が可能で、そのうち 1ch はビデオ機器を接続することも可能となっている。配信用パソコンとは USB ケーブル 1 本で接続。カメラ切り替えをおこなう簡易スタジオの構築もできる。

(2)「専用 CCD カメラ(IM510)」:高感度 CCD を採用した専用カメラ。3.9 倍光学ズームレンズを搭載し広角(最大水平角 90 度)で撮影可能。狭い空間でもワイドな撮影がおこなえ、また、高感度を生かした暗所での撮影も可能だ。プロジェクトを使用したシーンでも補助光なしで撮影ができる。

(3)「スコープカメラ(IM520/IM521)」:光学 10 倍ズーム

レンズ搭載カメラ。物を見せながらの Web 会議といった手元の様子や観察を行うシーンを配信するのに適している。製造工場やデザイン事務所、学校間交流、商品説明などで利用できるという。

Web 会議用のマルチカメラシステムの発売は、Web 会議システムを販売する各社を通して、また、Web 配信用については代理店を通しての予定となっている。

■ブイキューブ、Salesforce と連携した「V-CUBE セールス&サポート for Salesforce」を提供開始

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、株式会社セールスフォース・ドットコム(東京都港区)の提供する Salesforce と連携した「V-CUBE セールス&サポート for Salesforce」を 8 月 23 日より提供開始した。(8 月 27 日)

V-CUBE セールス&サポート for Salesforce は、Salesforce 上の顧客管理画面から、顧客と、資料や PC の画面を共有したコミュニケーションを可能にするもの。顧客側は PC とインタ



ーネット接続環境があれば、専用のアプリケーションなどインストール等々の事前準備なくサービスを利用できるため負担をかけることはない。

電話での説明のむずかしさ、そこを V-CUBE セールス & サポート for Salesforce で解消 (ブイキューブ資料)

企業における営業活動、カスタマーサポートにおいて、電話だけのコミュニケーションでは、「同じ情報が見えない」こと

によるコミュニケーションの煩わしさといった、伝えたい情報をきちんと伝えることが難しい場合も多くある。

そこで、今回提供開始するV-CUBEセールス&サポート for Salesforceを活用することで、「資料のココ」「画面のこのボタン」という的確な会話ができるようになるため、企業側と顧客側が抱えていた「同じ資料やPC画面を見ることができれば、一目で分かるのに」というストレスを解消でき、企業にとって最も重要な存在である顧客に負担をかけることなく、円滑で効率的な営業活動やサポートを実現するとしている。

■ディメンションデータ社、マネージド・ビジュアルコミュニケーションの機能拡張版を発表

ディメンションデータ社(日本法人:株式会社ディメンションデータジャパン、東京都港区)は、同社が提供している「マネージド・ビジュアルコミュニケーション(Managed Services for Visual Communications, MSVC)」の機能拡張版を発表した。(日本:8月19日)

同社は2011年にMSVCの最初のバージョンを提供開始。今回の機能拡張版では、新しい管理およびスケジューリングツールの開発によって信頼性と使いやすさが新たなレベルに引き上げられているという。エンドユーザーによる利用の最大化、ひいては導入による投資収益率(ROI)の最大化につながるとしている。

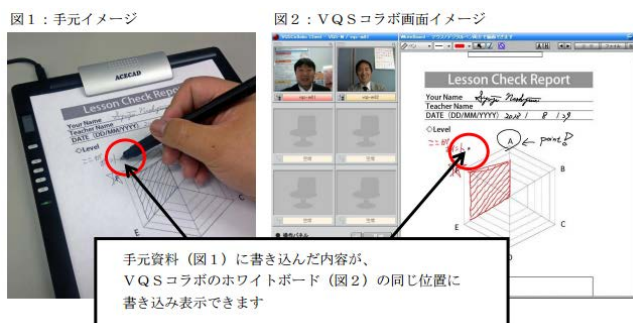
ディメンションデータは、売上高とエンドポイント(端末)の数において世界最大のビデオインテグレータ。MSVCを通じて、現在、シスコとポリコムのエンドポイント5,600か所において、430社の顧客を対象に毎月2万件のコール処理を管理している。この分野においては、同社は大手の一角を占めており、オンプレミス型・マネージド型・プライベートクラウド型・SaaS型のビデオサービスを世界でもっとも包括的な形で提供している。

なお、ディメンションデータ社は、2010年10年、日本電信電話株式会社による買収(総額約21億ポンド)により、NTTグループ会社となっている。

*関連記事:定期レポート:2012年6月15日号

■VQSマーケティングのWeb会議・遠隔授業システム、ゼブラ製手書きデジタルペンに対応

VQSマーケティング株式会社(京都市南区)は、同社のWeb会議・遠隔授業システム「VQSコラボ Version3」と「VQSコラボ V3 for Learning」について、ゼブラ株式会社製の手書きデジタルペン「DigiMemo A402」に対応した。(8月23日)



DigiMemo A402に対応したVQSコラボ(VQSマーケティング資料)

VQSコラボは、パソコン、インターネットを使い、映像・音声・資料を用いたリアルタイムコミュニケーションを実現するツール。大手英会話学校でも採用された高音質でリップシンクにも対応、また手書きデバイスでの書き込みも行え、システムが安定動作であること、利用方法においても、標準で、会議室・セミナータイプ・少人数タイプなど選べる。

今回の対応で、VQSコラボのホワイトボードに対応済みの手書きデジタルペンと同様に、手元のDigiMemoデジタルペンで書きこんだ内容がVQSコラボのホワイトボードの同じ位置に表示させることができる。

DigiMemoは電磁誘導式で位置精度が高い特長があるため、図面やデザインの打ち合わせ、教育現場における答案への解答および添削指導など、正確な書き込み位置が求められる用途などにも利用できるという。

VQSコラボのユーザでDigiMemo A402を利用する場合は、クライアントソフトのバージョンアップが必要。バージョンアップ方法については同社または購入先の販売店に問い合わせ要。

製品・サービス動向-海外

■Tata Communications 社、クラウド型テレビ会議サービスを開始

インドの Tata Communications 社は、法人向けクラウド型テレビ会議サービス「jamvee(ジャンビー)」を開始した。(7月9日)

Jamvee は、Windows、iOS(iPhone、iPad)、Android(8月対応)、「Microsoft Lync」、国際標準に対応したテレビ会議システム、などマルチデバイス、プロトコルに対応したサービス。加えて、「jamvee app(無料)」を Apple App からダウンロードしても利用できる。

ひとつの会議室には 46 台まで同時に接続でき、同社によると電話会議と同じくらい簡単に利用できるとしている。費用については、利用に応じた料金設定(usage based plans)で、会議はPIN(ホスト、参加者)を使用するが予約なし(レザバージョンレス)で始められる。

一方、セルフサービス型のサービスも提供しており、クレジットカードを登録するとすぐに使えるようになっている。料金は分単位、端末ごとに課金される仕組み。

■VSGi 社、1080p まで対応したクラウド型テレビ会議サービスを開始

VSGi(Visual System Group 社)は、マルチデバイス環境から 1080p まで対応したクラウド型テレビ会議サービス「VSGi クラウドビデオサービス」を発表した。(7月16日)

VSGi 社は、オーディオビジュアルインテグレーション、テレプレゼンス、テレビ会議システムホスティングなどを手掛ける。

VSGi クラウドビデオサービスは、iPhone、iPad、Android、H.323/SIP テレビ会議システムなどに対応。1ユーザ単位(a per user basis)の月額サービス。オーディオ&ルームシステムポート、バーチャルミーティングルーム、レコーディング&再生サービスなどのカスタマイズオプションも提供する。端末費用、セットアップ費、ユーザライセンスダウンロード費は一切かからないという。

ビジネス動向-海外

■シスコパートナーの KBZ 社とクラウドサービスの Videoxio 社、北米におけるテレプレゼンスサービスで提携

KBZ 社と Videoxio 社は、北米におけるクラウド型テレプレゼンスサービスで提携したと発表。(6月27日)

KBZ 社(米、ペンシルバニア州)はシスコシステムズディストリビュータでもあり、コラボレーション領域のビジネスでのパートナーでもある。(「Cisco Authorized Distributor」「Cisco Advanced Collaboration Architecture Specialization Certified Partner」)

KBZ 社は、Videoxio 社のビデオサービスプラットフォームを活用し、クラウドサービスをシスコパートナーへ販売する予定。

■Videoxio 社、カナダの ET Group 社とクラウドサービス提供で提携

Videoxio 社は、カナダの ET Group 社とクラウドサービス提供で提携したと発表。(7月29日)

ET Group 社は、Videoxio 社のプラットフォームを活用しマネージドサービス「eCloud suite」を提供する。ニーズに応じたサブスクリプションで、バーチャルミーティング、「Cisco Jabber クライアント」などが含まれる。

同社は、テレプレゼンス、デジタルサイネージ、オペレーション&コントロールセンター、ハイエンド自動役員室、モバイルビデオソリューションなどの設計からサポートなどのサービスまで提供している企業(カナダ、オンタリオ)。

セミナー・展示会情報

<国内>

■会議の効率化を実現!『ConforMeeting 無料体験セミナー』定期開催

日程:9月4日(水)、11日(水)、18日(水)、25日(水)
※全ての日程で 13:30-14:30、15:30-16:30 の 2 回開催
※10月・11月の予定もあり。

会場:NEC 情報システムズ 本社(東京都港区)

主催:日本電気株式会社、株式会社 NEC 情報システムズ

詳細・申込:

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

■製造業でビデオ会議はどうかされているか？ 導入事例・デモを交えてご紹介！

日時：(1)9月6日(金)15:30～17:00(開場：15:15)
(2)10月10日(金)15:30～17:00(開場：15:15)
会場：ポリコムジャパン セミナールーム(東京都千代田区)
主催：ポリコムジャパン株式会社
詳細・申込：<http://www.polycom.co.jp/company/events.html>

■メール連携の次のステップは？

～スマートデバイスを使い倒すための「3つの活用術」一挙公開
～セミナー

日時：9月6日(金)14:30～17:30(受付:14:00)
会場：タイム24ビル9階 中会議室(東京都江東区)
共催：TIS株式会社、株式会社ジェナ、
ソフトバンクテレコム株式会社、株式会社ブイキューブ
詳細・申込：
<https://softbanktelecom.smartmarketing.jp/public/seminar/view/193>
*「営業ソールのアプリケーション化」「パソコンの遠隔接続」
「Web会議」について事例を交えながら紹介。

■Web会議の選び方が分かる！

「製品比較する前にチェックすべきポイントご紹介」セミナー

日時：9月9日15:30～17:00(受付:15:00～)
会場：キヤノンソフトウェア本社(東京都品川区)
主催：キヤノンソフトウェア株式会社
詳細・申込：
http://www.canon-soft.co.jp/seminar/details/201307291749.html?pic3_n2u_1

■ワークスタイル変革 Day

日時：9月10日(火)9:30～18:00(受付開始9:10～)
[セミナー・展示]
会場：ソラシティカンファレンスセンター(東京都千代田区)
主催：株式会社リックテレコム
後援：一般社団法人日本テレワーク協会、
モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)
詳細・申込：<http://www.ric.co.jp/expo/wsd2013/index.html>

■9月13日【“見える”カレッジオンライン】Web会議サービスの活用メリットとは ～V-CUBE サービスが選ばれる理由

日時：9月13日(金)14:00～15:00(接続開始13:50)
会場：V-CUBE セミナーを利用したオンラインセミナー
主催：株式会社ブイキューブ
詳細・申込：<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/97>

国内：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

*上記以外、イベント情報は、情報が入り次第、随時掲載していきます。

CNA Report Japan アーカイブ電子ブック版

>2003年-2012年 http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/
>2013年 http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社
<http://www.catalog-square.co.jp>

Twitter、Facebook、dtc-forum

ツイッターとフェイスブック、dtc-forumを通して遠隔会議関連の情報を配信しています。よろしければご覧ください。

定期レポートでは各社からのプレスリリースあるいは取材をベースに作成されていますが、dtc-forumとフェイスブックページでは、橋本がピックアップした、インターネットで閲覧できるさまざまな遠隔会議およびUC関連の情報(テキスト、写真、動画、音声)を皆さんとシェアしています。Twitterでは各社からのリリース及びメディアの記事の見出しなどが中心です。

>dtc-forum メーリングリスト

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

>Twitter

ー日本語版：<https://twitter.com/cnarjapan>

ー英語版：<https://twitter.com/cnarjp>

>Facebook

ー「遠隔会議システム & ユニファイドコミュニケーション市場トレンドワッチ」

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

ー「橋本啓介」個人のページ

<https://www.facebook.com/keishashimoto>

編集後記

今号もお読みいただきましてありがとうございました。

次号もよろしくお願ひ致します。橋本啓介